

平成 27 年 3 月 25 日

各 位

会 社 名 住友商事株式会社
代表者名 取締役社長 中村 邦晴
(コード番号：8053 東証第 1 部)
問合せ先 広報部長 新森 健之
(TEL. 03-5166-3100)

通期連結業績予想の修正及び減損損失の発生に関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 4 四半期決算（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）におきまして、追加の減損損失が発生する見込みとなったこと及び足元の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について、下記の通り修正することを本日開催の取締役会にて決議しましたので、お知らせ致します。

記

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,600,000	—	62,000	10,000	8.02
今回修正予想(B)	8,600,000	—	△33,000	△85,000	△68.13
増減額(B-A)	0	—	△95,000	△95,000	△76.15
増減率(%)	0.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	8,146,184	171,750	304,246	223,064	178.59

(2) 修正の理由

当社は平成 26 年 9 月 29 日開催の取締役会において、米国タイトオイル開発プロジェクトの北部地域（約 172,000 エーカー）で保有するリース権、井戸及び関連設備の譲渡を決議したことに伴い、平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算において 1,736 億円の減損損失を計上しましたが、継続保有方針である同プロジェクトの南部地域（約 47,000 エーカー）において、足元の原油価格下落の影響及び長期事業計画の見直しを踏まえた事業価値の再評価を行った結果、追加で約 300 億円の減損損失が発生する見込みとなりました。また、ブラジル鉄鉱石事業において減損損失発生の可能性額を約 500 億円としておりましたが、鉄鉱石価格の下落及び長期事業計画・拡張計画の見直しを主因として約 650 億円の減損損失が発生し、損失額が約 150 億円増加する見込みとなりました（詳細は「3. ブラジル鉄鉱石事業における減損損失の発生について」をご参照下さい）。これらに加え、米国シェールガス及び北海油田事業においても、主に原油・ガス価格の下落及び長期事業計画の見直しにより約 400 億円の減損損失の発生が見込まれること等から、平成 26 年 9 月 29 日に公表した平成 27 年 3 月期通期連結業績予想を上記 (1) の通り修正しました。

尚、各案件の平成 27 年 3 月期通期連結業績への影響につきましては添付「平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想修正の要因となった主な事業」をご参照下さい。

2. 配当について

期末配当予想につきましては、平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算発表時（平成 26 年 10 月 31 日）に公表した 1 株あたり 25 円から変更はありません。

3. ブラジル鉄鉱石事業における減損損失の発生について

平成 27 年 3 月期第 4 四半期決算（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）におきまして、当社の子会社が保有するブラジル鉄鉱石事業に係る投資につき約 650 億円の減損損失が発生する見込みとなりました。

(1) 当該子会社の概要

① 名称	セーハ・アズール鉄鉱石合同会社
② 所在地	東京都中央区晴海 1-8-11
③ 代表者の役職・氏名	職務執行者 有友 晴彦
④ 事業内容	ブラジル鉄鉱石事業会社株式保有
⑤ 資本金	1 百万円

(2) 損失計上に至った経緯・内容

当社は、当社の 100%子会社であるセーハ・アズール鉄鉱石合同会社（以下、セーハ・アズール）及びブラジル住友商事（本社：ブラジル国サンパウロ州）を通じて、2010 年 12 月よりブラジル鉄鉱石事業会社であるミネラソン・ウジミナス社（本社：ブラジル国ミナスジェライス州、以下、MUSA）に出資を行い、ブラジル鉄鉱大手ウジナス・シデルジカス・デ・ミナス・ジェライス社（本社：ブラジル国ミナスジェライス州、以下、ウジミナス社）と共同で、鉄鉱石事業を行っております（当社グループ出資比率：セーハ・アズール 29.25%、ブラジル住友商事 0.75%）。

鉄鉱石価格の下落に伴い、MUSA の長期事業計画及び将来の拡張計画の見直しを行った結果、MUSA に対する投資の全額を回収することは困難と判断し、回収可能価額まで損失計上を行うものです。

事業パートナーであるウジミナス社とともに、MUSA の操業改善及び事業価値向上に引き続き努めてまいります。

① 連結決算

セーハ・アズール及びブラジル住友商事の MUSA に対する投資につき、「持分法による投資損失」を約 650 億円計上見込みです。

② 個別決算

当社のセーハ・アズールに対する投資につき、「投資有価証券評価損」約 650 億円を営業外損失として計上見込みです。

(注) 将来情報に関するご注意

当社の経営目標及びその他の将来予測に関する開示内容は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

以 上

(添付)

平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想修正の要因となった主な事業

(単位: 億円)

事業名	事業概要	「親会社の所有者に帰属する当期利益」への影響額			
		前回 発表予想(*) (A)	今回 修正予想 (B)	増減 (B-A)	主な増減理由/ 発生理由
米国タイトイル 開発プロジェクト	米国テキサス州における タイトイル・ガスの開発 並びに関連事業	約△1,700	約△2,000	約△300	原油価格の下落及び 長期事業計画の見直し
豪州石炭事業	豪州における 複数の石炭事業 への投資	約△300	約△260	約+40	-
ブラジル鉄鉱石 事業	ブラジル ミナスジェライス州 セーハスール地域における 鉄鉱山の開発 並びに関連事業	約△500	約△650	約△150	鉄鉱石価格の下落及び 長期事業計画・拡張計画の 見直し
米国タヤ事業 (TBC)	米国における タヤ卸・小売事業	約△200	約△220	約△20	-
米国シェールガス/ 北海油田事業	米国ペンシルバニア州に おけるシェールガスの開発 並びに関連事業/ 英領・ノルウェー領北海に おける石油・天然ガスの 開発・生産・販売	-	約△400	約△400	原油・ガス価格の下落及び 長期事業計画の見直し
税効果等	-	約+300	約+280	約△20	-
合計		約△2,400	約△3,250	約△850	

(*) 平成 26 年 9 月 29 日付「通期連結業績予想、配当予想の修正、剰余金の配当（中間配当）、固定資産の譲渡及び減損損失の発生に関するお知らせ」の添付資料に記載の金額。

(注) 将来情報に関するご注意

当社の経営目標及びその他の将来予測に関する開示内容は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全般的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

以 上